



2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所 東
コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日~2023年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	524	3.5	3	△69.4	1	△77.9	△4	—
2023年8月期第1四半期	506	△10.3	10	△83.2	8	△86.4	2	△95.2

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 △4百万円(—%) 2023年8月期第1四半期 2百万円(△95.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年8月期第1四半期	円 銭 △0.45	円 銭 —
2023年8月期第1四半期	0.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年8月期第1四半期	百万円 2,474	百万円 1,310	% 53.0
2023年8月期	2,712	1,345	49.6

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 1,310百万円 2023年8月期 1,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年8月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 3.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,200	6.1	60	1.8	55	11.6	30	△15.1	2.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年8月期1Q	11,300,000株	2023年8月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2024年8月期1Q	1,221,077株	2023年8月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年8月期1Q	10,078,923株	2023年8月期1Q	10,078,923株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスに関する規制の緩和により、インバウンドを中心に国内消費が活発さを取り戻し、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、世界的な金融引締めに伴う影響や物価上昇、金融資本市場の変動等、世界経済の下振れリスクは解消しておらず、依然として先行きが不透明な状況が継続しております。

このような情勢の中、当社グループは、「占いの企業」から「働く女性を応援する企業」への変容を目指し、既存事業における組織体制の再構築、SNSをはじめとする新規事業の推進の他、女性を対象とする医療・美容領域における積極的なM&Aの検討を行ってまいりました。占い事業において安定的な売上を維持したものの、広告宣伝費及び人件費の増加の他、ECサイト等に係るソフトウェア償却費の増加により営業利益が縮小いたしました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高524百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益3百万円(前年同期比69.4%減)、経常利益1百万円(前年同期比77.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失4百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを、今後の事業展開等を踏まえ、変更しております。そのため、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、下記及び「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① 占い事業(旧:デジタルコンテンツ事業 / One to One 事業 占いサービス)

占い事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに占い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する1対N向けのサービス及びユーザーと占いの師が電話・チャットで直接、双方向にやり取りできる1対1向けのサービスを行っております。当第1四半期連結累計期間より、新規占いコンテンツの制作本数を年間12本から5本に減らした一方、収益力のあるコンテンツの運用強化に注力した他、電話・チャットによる1対1形式の占いサービスが安定的に収益を維持した結果、売上高は前年同期比で増加いたしました。しかしながら、広告宣伝費及び採用費を含む人件費の増加により、営業利益は減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における占い事業の売上高は495百万円(前年同期比3.5%増)、営業利益は135百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

② エンタメ・マッチングサービス事業(旧:SNS事業 / XR事業 / One to One 事業 非占いサービス)

エンタメ・マッチングサービス事業においては、SNSを中心に、ネットとリアルの両面において人々の交流・関係構築の機会や場を提供するサービスを行っております。シュミレーションゴルフ店舗の運営においては、会費の他交流会の開催により売上が微増いたしました。しかしながら、SNS「OneRoof」の運営において、新規ユーザーの獲得に係る広告宣伝費が先行しており、その他費用の見直しにより赤字幅は縮小しているものの、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるエンタメ・マッチングサービス事業の売上高は28百万円(前年同期比4.9%増)、営業損失は33百万円(前年同期は営業損失41百万円)となりました。

③ その他事業(ヘルスケア/EC他) (※)

当社グループでは、企画・開発の初期段階にある事業について、当第1四半期連結累計期間末日時点において、金額又は連結売上高若しくは連結営業利益に占める割合等から重要性が低いと判断した事業等については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。当第1四半期連結累計期間においては、国内外企業との提携により、韓国食品EC「アイゴー」、韓国コスメEC「CoréelleJAPAN」の運営を行う他、「占いの企業」から「働く女性を応援する企業」への変容を目指し、主に女性を対象とする医療・美容事業のM&Aを積極的に検討してまいりました。ECについては、当第1四半期連結累計期間における売上は軽微であり、ソフトウェア償却費を計上していることから、営業損失を計上しております。

なお、本書提出日現在において成立したM&A案件はございません。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は0百万円(前年同期比59.7%減)、営業損失14百万円(前年同期は営業損失1百万円)となりました。

※当社グループは、2020年8月期から2021年8月期にかけて、事業の選択と集中のため、ゲームコンテンツ事業及びインバウンド・アウトバウンド事業から撤退しておりますが、一部については取引等を継続しております。

す。当第1四半期連結累計期間において発生したこれらの撤退事業に関連する取引等の売上についても、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第1四半期連結会計期間末において、重要な変更等はありません。

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して237百万円減少し、2,474百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少341百万円及び売掛金の減少27百万円によるものであります。

資産の内訳は、流動資産2,014百万円、有形固定資産27百万円、無形固定資産161百万円、及び投資その他の資産270百万円となっております。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して203百万円減少し、1,163百万円となりました。

これは主に、1年以内返済予定の長期借入金の返済74百万円及び長期借入金の返済116百万円によるものであります。

負債の内訳は、流動負債782百万円、固定負債381百万円となっております。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して34百万円減少し、1,310百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少34百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、長年当社の事業の中心であった古いコンテンツ企画・制作企業から、当社事業のコアユーザーである20代から40代を中心とした現役世代の女性たちを多面的に応援する企業への変容を目指します。具体的にはヘルスケア領域への進出並びにSNS事業収益を伸長させるべく事業投資を行い、安定的かつ長期的な収益の確保及び経営の多角化を推進いたします。

また、財務面に関しては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

なお、各事業別の見通し及び2024年8月期の通期業績見通しにつきましては、2023年10月6日の「2023年8月期決算短信」で公表しました通期業績予想に変更はありません。これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,027,423	1,686,263
売掛金	273,217	246,008
商品	57	-
仕掛品	4,157	7,941
貯蔵品	291	295
その他	58,627	74,569
貸倒引当金	△570	△620
流動資産合計	2,363,205	2,014,456
固定資産		
有形固定資産	29,130	27,556
無形固定資産	132,885	161,821
投資その他の資産		
敷金及び保証金	92,605	92,506
その他	94,635	178,297
貸倒引当金	△235	△235
投資その他の資産合計	187,005	270,568
固定資産合計	349,021	459,945
資産合計	2,712,227	2,474,402
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,780	53,667
1年内返済予定の長期借入金	629,896	555,104
未払費用	44,145	35,545
未払法人税等	6,154	2,925
未払消費税等	6,694	16,451
その他	125,148	118,436
流動負債合計	868,819	782,130
固定負債		
長期借入金	498,018	381,660
固定負債合計	498,018	381,660
負債合計	1,366,837	1,163,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	986,491	951,704
自己株式	△514,204	△514,204
株主資本合計	1,346,325	1,311,538
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△935	△926
その他の包括利益累計額合計	△935	△926
純資産合計	1,345,389	1,310,612
負債純資産合計	2,712,227	2,474,402

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	506,627	524,268
売上原価	250,373	252,283
売上総利益	256,253	271,984
販売費及び一般管理費	245,568	268,720
営業利益	10,684	3,264
営業外収益		
受取利息	0	833
その他	222	61
営業外収益合計	222	895
営業外費用		
支払利息	2,688	2,345
その他	-	0
営業外費用合計	2,688	2,345
経常利益	8,218	1,814
税金等調整前四半期純利益	8,218	1,814
法人税、住民税及び事業税	453	393
法人税等調整額	5,283	5,971
法人税等合計	5,736	6,365
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,482	△4,550
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,482	△4,550

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,482	△4,550
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△14	9
その他の包括利益合計	△14	9
四半期包括利益	2,467	△4,540
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,467	△4,540

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	478,097	27,466	505,563	1,064	506,627	—	506,627
外部顧客への売上 高	478,097	27,466	505,563	1,064	506,627	—	506,627
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	478,097	27,466	505,563	1,064	506,627	—	506,627
セグメント利益又は セグメント損失(△)	142,857	△41,704	101,153	△1,576	99,576	△88,892	10,684

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△88,892千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用88,892千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	占い事業	エンタメ・マッ チングサービス 事業	計				
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	495,025	28,813	523,839	429	524,268	—	524,268
外部顧客への売上 高	495,025	28,813	523,839	429	524,268	—	524,268
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—
計	495,025	28,813	523,839	429	524,268	—	524,268
セグメント利益又は セグメント損失(△)	135,868	△33,752	102,115	△14,106	88,008	△84,744	3,264

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、EC事業などの事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△84,744千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用84,744千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

今後の事業展開等を踏まえ報告セグメントの見直しを行い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「デジタルコンテンツ事業」、「One to One事業」、「XR事業」、「SNS事業」の4区分から、「占い事業」、「エンタメ・マッチングサービス事業」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。